

## ●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

### 朝鮮少年団第8回大会開催

一金正恩国務委員長参席

2017年6月6日発『朝鮮中央通信』によれば、同日、平壤市の4・25文化会館で朝鮮少年団第8回大会が開催された。金正恩国務委員長が参席し、「少年団員たちは社会主義諸国の真の息子、娘に、少年革命家になろう」と題する演説を行った。

### 北朝鮮で「階級教養事業」強化

2017年6月13日発『朝鮮中央通信』によれば、6月25日の朝鮮戦争の開戦日を控え、勤労者や青少年に対する階級教養事業が強化され、「体験者、目撃者たちとの事業を強化し、階級教養講義、トークショーを頻繁に行っているとのことである。

### 北朝鮮の大使が、国連人権理事会特別報告者と面会

2017年6月14日発『朝鮮中央通信』によれば、第10回障害者の権利条約締約国会議に出席するためにニューヨークに滞在中の北朝鮮のリ・フンシク大使は、国連ビルでカタリナ・デバンダス・アギラル国連人権理事会特別報告者(障害者の権利担当)と面会した。同特別報告者は2017年5月2～9日まで北朝鮮を訪問し、子どもを含む障害者の権利状況について調査していた。

### 金正恩国務委員長が歯科衛生用品工場を訪問

2017年6月20日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が新たに建設された歯科衛生用品工場を訪問した。同工場は金正恩国務委員長が建設を指示したもので、歯磨き粉、うがい薬、各種歯科衛生用具を生産する工場とのことである。

### 鉱物生産成果が拡大—上半期生産計画を超過達成した鉱山も

2017年6月20日発『朝鮮中央通信』によれば、黄海南道の殷栗鉱山(鉄鉱石)で、上半期の生産計画を10日あまり前に超過達成したとのことである。その他、同道の載寧鉱山(鉄鉱石)や黄海北道の平山鉱山(ウラン)でも、上半期の生産計画を達成した勢いで成果を拡大しているとのことである。

### 北朝鮮外務省のホームページ開設

2017年6月23日付『朝鮮新報』によれば、北朝鮮外務省ホームページが開設された。アドレスは <http://www.mfa.gov.kp/> とのことである。

### 金融活動作業部会(FATF)声明に対する北朝鮮の反駁

2017年6月29日付『朝鮮新報』によれば、同年6月21～23日にスペイン・バレンシアで行われた金融活動作業部会(FATF)会合の声明(23日付)に関連して、同月28日に朝鮮民主主義人民共和国資金洗浄及びテロ資金支援防止のための国家調整委員会スポークスマンが朝鮮中央通信記者の質問に答え、FATFを非難する回答をした。

FATFは同月23日付の声明で、北朝鮮を「DPRK から生じる継続的かつ重大な資金洗浄・テロ資金供与リスクから国際金融システムを保護するため、FATF がその加盟国及びその他の国・地域に対し、対抗措置の適用を要請する対象」として指定した。

### スケソウダラ稚魚の人工的生産に成功—数十万匹を日本海に放流

2017年7月3日付『朝鮮新報』によれば、北朝鮮で最近、スケソウダラ稚魚の人工的生産に成功し、同年4月末から5月上旬にかけて数回にわたり、数十万匹の稚魚を日本海に放流したとのことである。

### 沙里院大聖タオル工場の製品が平壤でも人気—国内最優秀製品として認められる

2017年7月12日付『朝鮮新報』によれば、黄海北道沙里院市にある沙里院大聖タオル工場の製品が、道内だけではなく平壤でも人気となっているという。少品種大量生産から他品種大量生産へと転換しつつあり、2016年12月には浴用タオルと洗顔タオルが国内最優秀製品に授与される「12月15日品質メダル」を受賞したとのことである。

同工場は「ネナラ」ホームページでも紹介されている。アドレスは <http://www.naenara.com.kp/ja/news/?2+3046>。

### 平壤市内の玉流薬水がリニューアル

2017年7月19日付『朝鮮新報』によれば、平壤市中心部にわき出る天然鉱泉水である「玉流薬水」がリニューアルした。鉱泉水の販売は電子決済カードによる自動販売方式になったとのことである。記事では、消費者は生産原価の80分の1の安い値段で購入できるとあるが、公式レートと住民用レートの差異を勘案すると、ほぼ原価に近い価格での供給と推定できる。

### 人民文化宮殿において障害者芸術グループ員による公演

2017年7月26日付『朝鮮新報』によれば、平壤市の人民文化宮殿で同月16～21日に朝鮮障害者芸術協会芸術グループ員による公演が行われ、連日3000席の大会議室が満員御礼となったとのことである。

### 北朝鮮外務省代表団、フィリピン訪問

2017年7月28日付『朝鮮中央通信』によれば、チェ・ヒ Chol 副大臣を団長とする北朝鮮外務省代表団が同月26日、フィリピンを訪問した。

ERINA 調査研究部主任研究員  
三村光弘